

ヤマザクラ	学 名 Prunus jamasakura 別 名
＜山桜＞	分 類 バラ科サクラ属（落葉高木） 分 布 宮城・新潟県以西、四国、九州、朝鮮南部 用 途 庭木、街路樹、盆栽、花材、建築・家具・器具、彫刻、樂器材、樹皮は細工物
解 説	日本の野生のサクラの代表で、山地に広く自生し、古くから人々に愛好されている。高さ15～25mにあり、樹皮は暗褐色。新芽は赤、茶色、黄色、緑色など異変が多い。成葉は長楕円形、卵状長楕円形、または卵形で長さ8～12cm。ふちには細くて鋭い鋸歯があり、裏面は白緑色。葉柄の上部に2個の腺点がある。3月下旬～4月中旬、直径2.5～3.5cmで白色または淡紅白色の花が散房状に2～5個咲く。雄しべは35～40個で無毛。花弁は5個で円形または広楕円形。萼筒は長鐘形で萼片は全縁。果実はほぼ球形で5～6月に黒紫色に熟す。
	枝・葉
	幹
	花
	実

